

市民活動は
まちの未来を
創造する

パートナー

発行 静岡市清水市民活動センター
 指定管理者 特定非営利活動法人
 NPOサポート・しみず
 〒424-0943 静岡市清水区港町2-1-1
 Tel 054-340-1010 Fax054-351-5530
 mail@shimizu-s-center.org
 http://shimizu-s-center.org

HUG体験で避難所運営を考えよう!

第2回
利用団体
連絡会議
2月24日



乾燥野菜を使った「炊き出し」もありました

利用団体連絡会議でおこなった避難所運営ゲーム(HUG)は、避難所運営を考えるために静岡県が開発したプログラムです。避難者それぞれの事情が書かれたカードを、運営する立場に立って避難所の平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するものです。

実際にやってみると、個々の見解もわかれ、グループごとに違った配置になりました。短時間でしたが、いざというとき瞬時に的確な判断をするためには、日頃の訓練や準備が欠かせない、ということを確認することができました。

平成30年度の事業

利用団体から寄せられた要望を加味し、みなさまの活動に役立つ事業をおこなっていきます。

情報	センター事業、市民活動や助成金情報などの発信 ・情報誌パートナー（偶数月発行） ・しみず市民活動センター情報（偶数月発行） ・ホームページ運営 ・Facebookページで発信 ・メールマガジン（毎月配信） 地域メディアとの協働事業 ・FM-Hi!（偶数月第1木曜）	講座	啓発講座 NPO入門講座 9月
	相談		・認定NPO、NPO法人の設立や運営、解散等 ・NPO法人の定款変更や事業報告書等 ・団体の立上げや運営 ・助成金その他資金調達 その他、市民活動全般に関する相談に対応します
連携交流		・利用団体会議 9月21日(金)/2月23日(土) 団体同士の交流、センター事業の報告 ・誰もが気軽に参加できる交流イベント 地域イベントとのコラボ企画 静岡の魅力を伝え、楽しむ企画 ・企業の社会貢献活動の紹介や連携・協働	記念事業
	ブース	・選考委員会の協議による入居選考 ・事務ブース定例会・個別懇談によるサポート ・相談等含め活動をサポート	

平成29年度利用団体アンケート報告

例年通りセンター利用団体のみなさまを対象にアンケート調査を実施しました。

記述式の回答により、自団体の課題について具体的かつ率直な声が寄せられ、新年度の事業を計画するための参考になりました。今年度もセンター事業が団体の課題解決やステップアップに繋がるよう、スタッフ一同努力してまいります。

回収状況

対象団体数 277団体 回答 130団体 回収率 46.9%

課題解決のための開催希望講座

● 団体がかかえる課題（複数回答）

特にない	26%	
ある	74%	
課題	運営スタッフ不足	22.0%
	会員の高齢化	18.7%
	運営強化・育成	16.5%
	会員の獲得・減少	16.5%
	資金不足・資金獲得	16.5%
	広報	3.3%
	活動拠点・事務所	3.3%
	その他	3.3%

● 課題解決に向けて開催を希望する講座

NPO法人からの要望

- ・運営に関する講座。協力者の拡大やファンドレイジング等
- ・NPOの会計 ・認定NPO法人関連 ・市民活動の「そもそも論」

全体的な要望

- ・大学生・専門学校の学生とのコンタクト、相互理解など
- ・助成金獲得のための講座、書類の書き方など
- ・広報のステップアップ講座(チラシ・マスコミなど)
- ・ファシリテーションやマネジメント
- ・団体を強くするための講座
- ・団体運営、団体同士で連絡・連携のために話し合う場

その他、地域防災、障がいのある人の防災、生活困窮者支援、まちなか活性化など、課題別の要望もありました。

センターを利用したことによる良い変化 自団体に良い変化があった 55団体(77%)

● 施設

- ・大量の印刷ができ、時間や経費が削減できた。
- ・利便性が良く、講座等の事業の参加者が増えた。

● 他団体とつながって活性化

- ・周年記念事業 市民活動FESTAや講座、利用団体連絡会議に参加し、他団体と情報交換ができた。
- ・いろいろな人に活動を知ってもらえた。

● 運営支援

- ・企業とのつながりやラジオ出演など、法人の周知や利用者様の工賃アップにつながった。
- ・会計講座で、より具体的に知ることができ、活動計算書等を容易に作成することができた。

● 助言・相談

- ・立上げ時に法人化のことなど、いろいろアドバイスをいただき、現在のボランティア団体が順調に運営できている。
- ・会計、運営、助成金、マスコミの事など、たくさんあります。

● 気軽にできる運営相談

- ・センターに紹介してもらった助成金情報を見て申請し、物品購入資金を助成してもらった。
- ・イベントの印刷が安くできたことで、大変助かった。会の支出を抑えることができた。

活動についての相談

● 運営や手続き等の相談先（複数回答）

- ・市民活動センター 42%
- ・所轄庁等行政機関 36%
- ・会計士、社労士、行政書士等の専門家 14%
- ・その他 8%



活動は楽しいけれど事務は苦手、という声をよく聞きます。しかし、団体である以上書類作成やいろいろな手続きは必須です。

たしかに、お金を払って専門家に依頼しなければならないこともありますが、NPOの運営や提出書類については市民活動センターでも対応できることもたくさんあります。

月2回の休館日以外の平日は夜間も対応していますので、市民活動センターをぜひご活用ください。

市民活動見てある記

“高校生が企画・運営を手がける” ファッションショー
『Unique Personality Fashion Festival』
 が開催されました！

大好きなファッションで自分を表現したい 主催 UPF2 (ユーピーエフツー)

UPF2は、現役高校生のグループ。学校の枠を越えて、ファッションに興味がある仲間が集まり結成されました。静岡県立大学YEC(若者エンパワメント委員会)の学生達も活動をサポートしています。

今年度は『麒麟・子ども「力」応援事業』の助成を受け、ファッションショーの企画・運営を手がけました。取材したのは、ショーのメインとなるウォーキングの練習日。リハーサルの合間を縫って、立ち上げに関わった日菜さんとメンバーの美優さん(ともに市内公立高校3年生)にお話をうかがいました。

Q:なぜ、ファッションショーだったのでしょうか。

A:今の社会は、SNSなど間接的なコミュニケーションが増えてきています。そのため、自分たちの気持ちを上手く表現できる子が減ってきているような気がします。元々ファッションに興味があったということもありますが、同世代の仲間と何か作りたい、表現したいという思いから企画しました。

Q:メンバーは何人くらいいますか？

A:現在、運営に携わっているのは6名。ファッションショーを開催するにあたり、モデルとして参加してくれたメンバーは25名です。学校の友達やSNSを通じて募集しました。古着屋さんのお客さんだったメンバーもいます。

Q:活動していく中で大変だったことは？

A:古着屋さんへ衣装協力の依頼電話をかけましたが、断られて凹むこともありましたが、協力してくれる方も多く励まされましたね。

Q:UPF2に参加したきっかけは？ 楽しいことは？

A:同じ学校の日菜に誘われました。違う学校の友達と知り合いになれること、特に大学生と話すのが楽しいですね。

Q:活動していく中で困ったことは？

A:高校3年の受験生なので、勉強との両立に悩みました。でも、仲間がカバーしてくれました。大変だったけど、最高の思い出になると思います！



▲日菜さん
 「卒業後は、ファッション関係の学校へ進学が決まっています！」



▶美優さん
 「モデルより裏方の仕事が好きかな」

練習日、初顔合わせのメンバーもいたそうですが、自己紹介ゲームやアイスブレイクで和やかな雰囲気の中スタート！しかし、ウォーキング練習が始まるとみんな真剣な表情に… 指導をするのも、市内モデルスクールに通うメンバーです。



ウォーキング練習風景▶

ファッションショー
 いよいよ本番！



▲当日の様子

◆3月11日(日)
 ◆グランシップ展示ギャラリー

テーマは、Flugens(フルージェンス)。フランス語で“輝く”という意味で、「来てくれたお客さんを笑顔にしたい、自分たちもステージ上で輝きたい」という思いが込められているそうです。

たくさんの観客の前で、ランウェイを堂々と歩くUPF2の高校生たち。

衣装は、市内5店舗の古着屋さんが無償で貸し出してくれたもの。コーディネイトは自分たちで考え、音響・照明は大学生が担当してくれました。

せっかくながつなげた仲間たち。ここから、さらに新しいコトが生まれるといいですね。

NPOワンポイント

NPO法人のみなさん、総会の準備は進んでいますか？

4月1日に新年度を迎えた法人は、総会を控えて忙しくなりますね。まずは所轄庁への提出書類について準備状況を確認しましょう。

1. 理事会、監査、総会の日程と会場の確保
2. 理事会、総会に提出する書類
 - 平成29年度の事業報告書・平成30年度の事業計画書
 - 平成29年度の活動計算書・平成30年度の活動予算書
 - 貸借対照表
 - 財産目録
 - 年間の役員名簿（年度途中に変更があった場合は全ての役員）
 - 会員名簿（10人以上）
3. （収益事業を行っている団体は）税務申告のための損益計算書

また、平成28年の法改正により貸借対照表の公告が必要になりました。それに併せて定款上の公告方法を変更する必要があるかもしれませんので、ご注意ください。

※下記講座でも解説しますので、ぜひご参加ください。

しみず・コレなあに？

その30



静岡市清水区役所の一角に大きなスクリューが設置されています。近くに行ってみると、金属製のプレートに「貨物船こりんと丸」に設置してあったという記載が見えます。

こりんと丸は、高度成長期を迎え第二次造船ブームに沸く昭和45年に建造され、中南米、カリブ海への輸送に活躍し、清水港に何度も寄港しました。とはいえ、なぜ母港でもない清水にスクリューが残されたのでしょうか。

寄贈した大阪商船三井船舶㈱の社史によると、船は昭和57年にエジプトの船会社に売却され、船名もNILEに変わったとあります。旧清水市に送られたのが昭和58年8月となっているので、売却前に取り外されたと考えられます。

58年8月は、清水市役所として現庁舎が竣工した時です。11トン超の巨大スクリューは、7つもの造船会社がある清水にふさわしいシンボルとして、プレゼントされたものだったのでしょうか。

事業のご案内

● まだ間に合う！事業報告書作成と定款チェック講座

NPO法人が所轄庁に提出する事業報告書は、提出前に総会の議決が必要です。

「書類作成はこれから」という法人のみなさん、一緒に書類の確認をしていきましょう。

また、法改正により定款の一部変更が必要な団体もあります。変更点の説明とその対応についても説明します。

日時 4月20日(金) 19:00~20:30

参加費 無料

持ち物 団体の定款

定員 10団体(先着順)

講師 センタースタッフ

センター事務ブース入居団体

選考委員会による審査の結果、平成30年度は下記団体の入居が決定しました。

清水映画サークル協議会

ぶんかさろん・しみず

特定非営利活動法人NPOサポート・しみず

認定特定非営利活動法人静岡県ライフセービング協会

清水おやこ劇場

清水海洋少年団

特定非営利活動法人AYUドリーム

清水区観光ボランティアガイドの会

特定非営利活動法人散太郎神楽